

事業報告書

第5期 2018年1月1日から2018年12月31日まで

2019年2月22日

東京都江東区豊洲5丁目6番29-206号

一般社団法人日本フラッグハント協会

法人の状況に関する重要な事項

競技会（月次練習会・全国大会）の開催

当期の注力テーマは①社員数の増強②単年度収支の黒字化③赤外線銃による競技成立可否の判断④“③”の判断結果に基づく競技用銃の刷新として活動して参りました。

月次練習会

当法人は、月1回を目処に、静岡県小山町に又は千葉県柏市のフットサルコートを利用してフラッグハントの練習会を行っています。本年度は、11回の練習会を実施することができました。また今年度はフラッグハント競技の判定精度向上のために導入した赤外線銃による練習会を5回開催することができました。

無料体験イベント

赤外線銃の導入に伴い赤外線フラッグハント未経験の方を主な対象とし11月に東京都大田区のフットサルコートにて無料体験イベントを開催し下は就学前児童から50代までと幅広く多くの方々に赤外線銃を用いたフラッグハントを体験頂くことができました。

全国大会

下期より判定精度の高い赤外線銃を導入することができたため、赤外線銃による競技経験の蓄積を最優先として全国大会開催は延期とし開催しておりません。

赤外線銃導入と一連の競技会により、フラッグハント競技の進化がもたらされた一年でした。注力テーマとしては③赤外線銃による競技成立可否の判断④“③”の判断結果に基づく競技用銃の刷新を実現することができました。

当法人の財務状況については、別添の決算報告書（第5期）をご覧ください。

以上

監査報告書

第5期 2018年1月1日から2018年12月31日まで

2019年2月22日

一般社団法人日本フラッグハント協会

監事 泉原 智史

第5期の事業報告、計算書類その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

監査の方法及びその内容

理事らによる会議に参加し、資料を閲覧する方法で監査を行いました。

監査の結果

事業報告の内容は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。

理事の職務遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

決算報告書

第 5 期

2018年01月01日

2018年12月31日

一般社団法人日本フラッグハント協会

東京都江東区豊洲5丁目6番29-206号

貸借対照表

2018年12月31日現在

(単位：円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	
その他預金	802,275
流動資産 計	802,275
資産 計	802,275
負債の部	
流動負債	
買掛金	362,710
未払費用	38,395
預り金	23,750
流動負債 計	424,855
負債 計	424,855
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,904,154
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	-1,526,734
その他利益剰余金 計	-1,526,734
利益剰余金 計	-1,526,734
株主資本 計	377,420
純資産 計	377,420
負債及び純資産 計	802,275

損益計算書

2018年01月01日~2018年12月31日

(単位：円)

科目	金額
売上高	
売上高	2,123,900
売上高 計	2,123,900
売上原価	
当期商品仕入	2,352,804
売上原価 計	2,352,804
売上総利益	-228,904
販売管理費	
販売管理費 計	864,903
営業利益	-1,093,807
【営業外収益】	
受取利息	14
営業外収益 計	14
経常利益	-1,093,793
税引前当期純利益	-1,093,793
当期純利益	-1,093,793